

鈴鹿市社会福祉協議会の嘱託職員を募集します

採用職種・受験資格について

○共通受験資格

- ・社会福祉の仕事や心身障がい児(者)に理解のある方
- ・普通自動車運転免許(AT限定免許)を所有、または採用時までに取得見込みの方

職種	採用人数	受験資格	年齢
理学療法士	若干名	理学療法士の資格を有している方、または採用時までに資格取得の方	平成元年4月2日以降に生まれた方
作業療法士	若干名	作業療法士の資格を有している方、または採用時までに資格取得の方	平成元年4月2日以降に生まれた方
臨床心理士	若干名	臨床心理士の資格を有している方、または採用時までに資格取得の方	平成元年4月2日以降に生まれた方
保育士	若干名	保育士の資格を有している方、または採用時までに資格取得の方	平成元年4月2日以降に生まれた方
社会福祉士	若干名	社会福祉士の資格を有している方、または採用時までに資格取得の方	平成元年4月2日以降に生まれた方
介護支援専門員	若干名	介護支援専門員の資格を有している方、または採用時までに資格取得の方	不問

申込提出書類について

【履歴書】履歴書(市販のA4版)に必要事項を記入し、本人写真(3ヶ月以内に撮影したもの)を貼付したもの。

【資格証の写し】該当資格の資格免許証、登録証

受付・申込みについて

令和元年8月20日(火)～8月31日(土)の8:30～17:15(日祝日を除く)の期間に鈴鹿市社会福祉協議会事務局へ持参または郵送してください。郵送は、令和元年8月31日(土)必着とします。

採用試験について 小論文、面接 採用予定日について 随時

申込み・問合せ (福)鈴鹿市社会福祉協議会 〒513-0801 三重県鈴鹿市神戸地子町383-1 TEL:059-382-5971

「借りたいのに借りられない…」高齢者、障がい者、外国人、子育て世帯の方の住まい探しを応援しています。

あんしん賃貸支援事業

鈴鹿市社会福祉協議会では、三重県あんしん賃貸支援事業として、高齢者、障がい者、外国人、子育て世帯の方を対象に不動産店(三重県あんしん賃貸住宅協力店)等と協力をして住まい探しについてのお困りごと等、賃貸住宅に関する情報や相談をお受けしています。

窓口には、三重県あんしん賃貸住宅協力店の一覧冊子もございますので、ご活用ください。



問合せ先 鈴鹿市社会福祉協議会 059-382-5971

8~9月 ふれあいふくし総合相談のご案内

8月		30	金	福祉相談	9	月	心配ごと相談	20	金	福祉相談
20	火	31	土	9月	10	火	高齢者健康相談	21	土	
21	水	心配ごと相談			11	水	心配ごと相談	22	日	
22	木				12	木		23	月	秋分の日
23	金	福祉相談			13	金	福祉相談	24	火	高齢者健康相談
24	土				14	土		25	水	心配ごと相談
25	日				15	日		26	木	
26	月	心配ごと相談			16	月	敬老の日	27	金	福祉相談
27	火	高齢者健康相談			17	火		28	土	弁護士相談
28	水	心配ごと相談			18	水	心配ごと相談	29	日	
29	木				19	木		30	月	心配ごと相談

弁護士(元公証人)相談	遺言・離婚・契約(金銭・賃貸)などの法律相談/13:00~15:30 要予約
司法書士相談	財産(不動産・登記等)に関するごとについて/13:00~15:00 要予約
高齢者健康相談	高齢者の健康について/10:30~11:30
心配ごと相談	日常の悩み事について/13:00~16:00
福祉相談	福祉に関するごとについて/9:00~16:00
地域包括支援センター	高齢者についての介護・権利擁護・虐待などの総合相談/9:00~16:00(平日、土曜日)※土曜日は要予約

※相談日は、若干変更することもございますので、ご確認の上お越しください。

この広報は、赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。

■善意の寄付・香典返しの寄付について■

詳しくは、鈴鹿市社会福祉協議会までTEL382-5971



No402 発行日 令和元年8月20日

編集・発行所

社会福祉法人 鈴鹿市社会福祉協議会

〒513-0801 鈴鹿市神戸地子町383-1

☎ 059(382)5971/FAX 059(382)7330

URL http://www.suzuka-shakyo.or.jp/



「鈴鹿市後見サポートセンターみらい」からのお知らせ “ご存じですか？「成年後見制度」”

「鈴鹿市後見サポートセンターみらい」では、認知症や知的障がい・精神障がい等によって判断能力が不十分になり、自分一人では契約や財産管理などを行うことが難しい方が、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように、成年後見制度のご利用をお手伝いいたします。

Q. 成年後見制度とはどんな制度なの?

A. 「成年後見制度」は、民法で定められた制度で、認知症・知的障がい・精神障がい等により判断能力が十分でない方が、不動産や預貯金等の財産管理や、医療や介護に関する契約を結んだりする場合に、不利益な結果を招かないよう、本人を保護し支援する方(後見人等)を選ぶことで、本人を法律的に支援する制度です。

Q. 鈴鹿市後見サポートセンターみらいはどんな相談に乗ってくれるの?

※具体的には、次のような相談をいただいている。

A. 認知症や障害のために判断能力が十分でない方が、

- 「最近、物忘れがひどく、財産管理が一人できなくなっている」
- 「銀行や不動産会社の方等から、成年後見制度の利用を勧められた」
- 「医療や福祉サービスの契約手続きを一人で行うことが難しい」
- 「頻繁な訪問販売や悪質商法の被害を受けないか心配又は既に被害を受けている」
- 「成年後見制度の利用を考えているが、手続きが複雑でよくわからない」



A. 現在は判断能力が十分ある方が、

- 「身寄りがなく、将来の財産管理や身の周りのことのが心配」

Q. 後見サポートセンターは他にどんな活動をしているの?

A. 成年後見制度についてのご相談をお受けするほかに、家庭裁判所の審判に基づき、鈴鹿市社会福祉協議会が法人として後見活動を行います。また、成年後見制度の広報・啓発を目的として、老人会や、地域での集まり等への「出前講座(無料)」も開催しております。成年後見制度に関するご相談や講座の開催をご希望される場合は、お気軽に当センターへご連絡ください。



お問合せ先

社会福祉法人 鈴鹿市社会福祉協議会

鈴鹿市後見サポートセンターみらい

担当/田中・真弓

鈴鹿市神戸地子町383-1

(鈴鹿市社会福祉センター内)

TEL 059-373-5737(直通) FAX 059-382-7330

※相談時間:月曜日～金曜日の午前9時から午後5時

(土曜日・日曜日・祝日・年末年始はお休みです)

平成30年度「市民向け成年後見講座」の様子



鈴鹿市社会福祉協議会では、平成30年度から赤い羽根共同募金の仕組みを活用し、普段のお買い物やサービスの利用が、社会貢献活動への参加につながる、『鈴鹿おもしりプロジェクト』を始めました。

『鈴鹿おもしりプロジェクト』の仕組みは簡単です。

①市民は企画に参加している企業で、普段通りお買い物やサービス利用をする。

②企業は、募金対象商品・サービスの売上的一部分を鈴鹿の福祉活動へ寄付する。

③社会福祉協議会は、集まった寄付金を元に、住民と共に地域をよくする活動へ役立てる。

丸川菓子舗

所在地：鈴鹿市神戸2-10-1 電話：059-382-0037
営業時間：9:00～20:00 定休日：月曜日



ショーケースには色とりどりの季節の上生菓子が並びます

ご店主の倉田佳典さんにお話をうかがいました。

「当店は江戸時代の終わり頃に創業し、私は5代目の店主になります。お店の商品のメインは、季節に応じた彩り豊かな上生菓子と贈答品用のお菓子で、2代目店主の時には、大正皇后様が伊勢へ行啓の折、お買い上げの誉れを頂戴しました。みずほという羊羹に細工を施したようなお菓子だと伝え聞いております。長く神戸小学校の正門前にお店を構えていましたが、現在は店舗のみペルコモンに移し、地元神戸のお客様はもちろん、地域の方に広く当店のお菓子を召し上がっていただいている。

館の材料には北海道産小豆を使用し、自家製で豆から炊き上げて漉し餡まで作り上げています。なるべく鈴鹿のものを使いたい、との思いから、当店では地元の食材を取り入れたお菓子を数々取り揃えており、鈴鹿産の日本酒や抹茶を使った商品を増やしてきました。年明けからは鈴鹿抹茶のムースを作り始め、これから季節にはお勧めです。

鈴鹿おもしりプロジェクトへの参加のきっかけは、菓道会という地元のお菓子屋さんや餅屋さん、パン屋さん等が加盟する団体で企画を紹介されたことでした。当店は個人経営のお店ですので、宣伝も大々的にはしませんが、たくさんの事業所が参加する企画であれば、それだけ地域の方にも知ってもらえますし、商品を購入していただいた方や、寄付する先、それを元に福祉に取り組んでいただく方、それぞれにとっても良い企画だと思ったからです。今後は地域の催事で出店等ができたら、もっとたくさんの方々にこの取り組みを知っていただけるのではないか、と思います。

同居でも離れて暮らしても、高齢の親に、本当は日中にあげたいことがたくさんあるのに、仕事との両立は難しく思うようにならない、という悩みを抱えている方がきっと鈴鹿には見えるのではないでしょうか。例えば高齢者の散歩や話相手等、日常のちょっとしたことの助けや支えになること、鈴鹿のそのような福祉の活動のために寄付金が役立てられることを願います。

とらや勝月

所在地：鈴鹿市三日市町1871-15 電話：059-382-1916
営業時間：8:00～19:00(月～土曜日)～18:00(日曜日)
定休日：火曜日



みたらしや饅頭から、上生菓子、くず冰等季節感たっぷりなお菓子まで種々お店には並びます

ご店主の田中照勝さんにお話をうかがいました。

「当店は昭和37年に鈴鹿サーキットと同時期に創業し、以来57年間、地元の方々に身近なお菓子屋さんとして気軽にご来店いただけるように、と努めています。『とらや』という和菓子屋さんは全国にたくさんございますが、

当店の由来は、先代が四日市の『虎屋八幡』さんで修行をさせていただき、その縁で『とらや』の名をいただいたことによります。

和菓子と申しますのは、人の一生に深く関ります。お子さんがまだお母さんのおなかにいる頃の帯祝いにはじまり、最後は法要のお供えやお返しに至るまで、人の営みの節目に、お買い求めになる方の思いと共に贈られるものだからです。ですので、私共としては、ご家庭で普段ちょっと食べてみたくなるお菓子から贈答品まで、幅広いお菓子作りを日々続け、今後も地域の人から愛されるお店でありたいと思っています。

和菓子屋さんも時代につれて新しいことに挑戦したり、変わったりしていくかいいといけないと常々思っていますので、この鈴鹿おもしりプロジェクトのお話も、鈴鹿菓道会を通じていただいた際、みんなで参加すれば、規模もより大きくなり、市民の方にも知っていただきやすくなるのでは、と考え加わりました。

集められた寄付金については、地域の40代、50代の若い世代が充実して働くためのケアにつかっていただけたら、と思います。高齢者福祉施策の制度で賄えない部分に何か使っていただくことで、高齢者が安心して在宅生活を続けられ、働く子ども世代も安定した仕事が続けられるような助けになればよい、と思います。」

このプロジェクトの目印は、店頭のぼり旗とかりんちゃんステッカーです。もし町で見かけられたら、是非お店に立ち寄ってみてください。

社協すずかでは、プロジェクト始動2年目にあたり、初年度参画企業のインタビューを特集記事として掲載しています。インタビューシリーズ第3回にご登場いただくのは、こちらの4店舗の方々です！

いこいの家 麦

所在地：鈴鹿市中箕田1-10-12 電話：059-385-7828
営業時間：10:00～16:00
営業日：月曜日、木曜日、金曜日、第3日曜日



お店は素朴で昔懐かしい雰囲気です

のお店をオープンさせました。普段から近所の地域の方がちょっとお茶を飲みにみえるので、常連の方がたくさんいらっしゃいます。

私たちは、お年寄りや障がいのある方もいる方も、地域の誰もが気軽に休んでいただける場所、くつろいでいただける場所としてこのカフェを運営していきたいと思っています。お店では、年に1回か2回イベントを開催することもあり、今年は5月に「ヴァンリーズ」という神戸の3人組のバンドに来ていただきました。ギター演奏を中心に昭和歌謡等を披露していただき、当日はお天気にも恵まれて屋外にもテーブルを出し、60名ほどのお客様がお越しになりました。会場は大盛況でみなさんに楽しんでいただけたと思います。また、月に1回、手打ちそばをメニューにお出しする日があり、この日を楽しみに来て下さる方もたくさんみえます。

社会福祉協議会さんは、共同募金の募金活動や助成での繋がりが以前からあり、鈴鹿おもしりプロジェクトのことで声をかけていただいた時にも、ぜひご協力しますとお返事しました。

集められた寄付金については、地域の災害時のため、ボランティアの育成のためや障がいのある方が地域で生活するための助けになる活動や事業等に使われたらいいな、と思います。」

有限会社サン・リフレッシュサービス

所在地：鈴鹿市住吉5-14-10 電話：059-375-6262
営業時間：9:00～17:30
定休日：日曜日(6月～9月)、土・日曜日(10月～5月)



自慢のドライクリーニング（上）と地域貢献企画（下）の様子

代表取締役の越川昭弘さんにお話をうかがいました。

「私共の会社では、寝具の丸洗い、マットレスの洗浄などをメインに、ベッドや車椅子の丸洗い、布団の打ち直し、羽毛布団のリフォームなども承っております。

元々はダイトウボウ株式会社の中に入っていた丸洗い部門から独立しまして、現在三重は勿論、近隣5府県のお客様の下へ集荷から配達まで伺っております。ご家庭での洗濯が難しい素材のもの、絨毯や電気カーペット等も取扱い、1枚1枚素材に適した方法で手洗いします。特に当社の乾燥機は他では取り扱いが少なく、薬剤を使わずカビや細菌、ダニを99.9%死滅させることができます。

これからの世の中、企業がCSR活動に取り組む事は必須です。そして1社で難しいことも、地域の企業間に協力体制があれば出来ることは増えるので、のような体制整備も必要だと考えていました。そのような意味で、鈴鹿おもしりプロジェクトへの参加は当社にとって好機でした。今後はより一層地元を中心のお仕事をさせていただきたいと思っております。そしてさらに市民の方々へ返せることがあれば、とも考えております。そのようなことから、今年の6月に地域の就労支援事業所を利用されている方を対象にした「ふとん丸洗い体験企画」を開催いたしました。

企画の内容は、障がいのある方を当社へ招き、ご自分のお布団を洗ってふかふかにしていただく作業工程も含めた体験をする、というものです。洗いたてのお布団で休んでいただくと同時に、作業工程の一部へ参加されることで、今までにない職業体験をしていただけたり、事業所やご本人のご家族も含めて当社のことを知る機会にしていただけたりしたら、と思い立ち上げました。全く初めてのことで、打合せや受け入れ態勢準備等大変なこともありましたが、当日は参加していただいた方みなさんと当社の従業員とで得難い時間を過ごすことができました。

今後も市民の皆様に当社のことをより知っていただき、地域のためにさせていただける活動について積極的に取り組んでいきたいと考えています。そして我々の仲間が増えることにも期待しています。」